

舞鶴引揚記念館

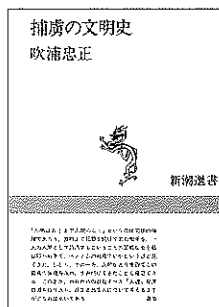
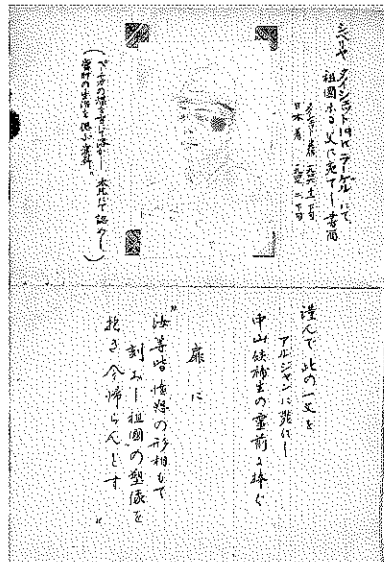
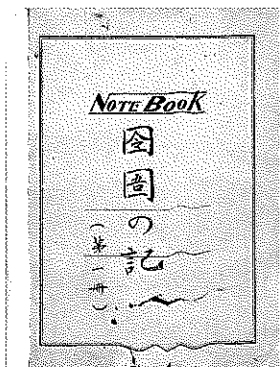
舞鶴引揚記念館では、引き揚げやシベリア抑留に関する資料を収集しています。本企画展では令和3年度に新たに収蔵された資料を紹介します。

戦後 77 年が経過し、抑留体験者や引揚体験者から直接の寄贈がなくなり、子どもに限らず孫世代からの寄贈も増えてきました。今は祖父母の体験・記憶が孫の世代へ受け継がれていく過渡期にさしかかろうとしていると思われます。

記憶の中の記憶

抑留体験記などの日記や書籍

抑留体験者は帰国したあとにその時の記憶を文字や絵画で残している。映像など肉声で伝え残した人もいる。



シベリア抑留中に使用した食器など

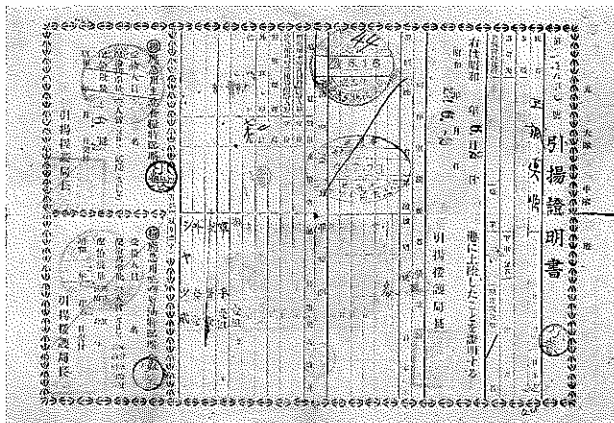
シベリア抑留中に使っていた飯盒や水筒。なかには抑留体験者が現地で作って持ち帰ったスプーンもある。



主な展示資料

抑留や引き揚げに関する文書

国内に引き揚げて来たことを証明する書類、シベリア抑留中に亡くなったことを通知する死亡通知書などの文書がある。



次世代に伝えるために

収蔵された資料はどのように使われ、継承されていくのでしょうか。成果品からその一端をご覧ください。

開館時間：午前9時～午後5時まで（最終入館は午後4時30分まで）
休館日：毎月第3木曜日（8月と祝日を除く）、12月29日～1月1日
入館料

	一般	学生
個人	400円(200円)	150円(75円)
団体	300円(150円)	100円(50円)
共通券	600円(300円)	200円(100円)

【共通券】 舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

【割引制度】 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額（料金表の○内の金額）になります。

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

〒625-0133

京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内

TEL：0773-68-0836

FAX：0773-68-0370

<https://m-hikiage-museum.jp>



舞鶴引揚記念館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM